

2015 年 9 月版 プランナー屋根材質選択の解説



屋根入力 新屋根材質変更ダイアログについて

■屋根入力／変更の材質変更ダイアログに「パース用材質」と「立面図用ハッチング」を実装し、「パースと立面図作成」の連動設定を同時に入力する事が可能となりました。この連動設定によりプレゼンパース及び立面図自動作成が円滑に行えます。

※屋根タイプ（屋根 1 ～ 5） + 玄関庇に設定できる「材質とハッチング」の組み合わせは、1 パターンのみとなります。

屋根タイプ毎に材質とハッチングの種別変更が可能です。詳しくは、2 ページ以降の解説をご確認下さい。

現行ダイアログ



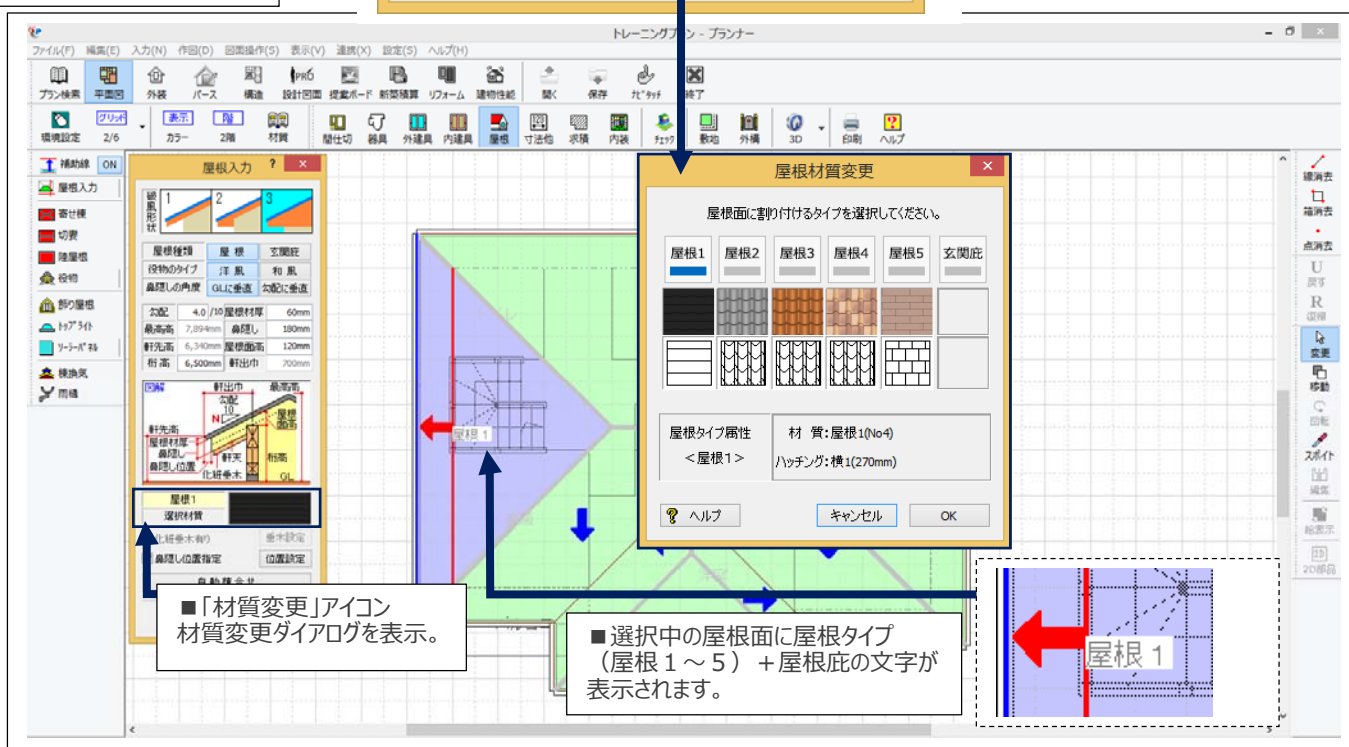
新屋根材質変更ダイアログ



改良ポイント

- ①屋根タイプ選択ボタン
(屋根 1 ～ 5) + 玄関庇
屋根タイプボタンに (青ライン=選択中) を実装して切替表示を分かり易くしました。
屋根面の情報 (材質・ハッチング) は、屋根 1 ～ 5 のボタンを切り替えて変更します。
※ 2 ページ目に操作解説
- ②屋根タイプ
「パース用の材質」と「立面図用のハッチング」設定を同一画面に表示させ、連動設定を分かり易くしています。
- ③屋根タイプ情報
選択中の屋根タイプ情報を表示します。
「材質：材質マスタ番号」を表示。
「ハッチング：種別・寸法」を表示。

屋根入力 操作画面



屋根入力 新屋根材質変更ダイアログの操作について

■新規で屋根を入力する場合の屋根面は、屋根タイプ（屋根 1 ～ 5）を選択することで自動割り付けされます。

この章では、新屋根材質変更ダイアログを活用したパース用「屋根材質」と立面図面用「ハッチング」の割り付け方法を解説します。

屋根 自動入力の屋根タイプ（屋根 1 ～ 5）の選択

【操作解説 1】：新規で屋根自動入力を行う場合の「屋根 1」の材質を変更するケース

- ① 屋根の入力階を選択し、自動入力（寄棟・切妻・陸屋根）を選択します。
 - ② 「屋根自動処理」ダイアログ内の③「屋根 1 選択材質」を押します。
 - ④ 「屋根材質変更」ダイアログ内の⑤「屋根 1 の材質画像」を押し、「材質選択」から別の材質を選択後に⑥「OK」を押してダイアログを閉じます。
- 「屋根自動処理ダイアログ内の⑦の「表示階処理」「全階処理」の何れかを押して屋根自動入力を完了します。

【ワンポイント】

※⑦の「表示階処理」は、入力階の自動作成に利用、「全階処理」は、全ての階への自動作成となります。自社でよく利用する屋根材質を「屋根 1」の材質設定にしておく有効です。

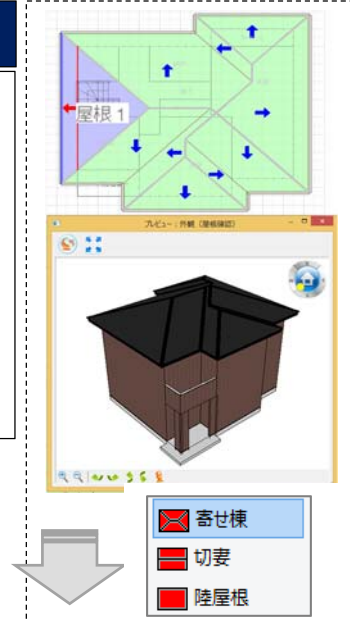
② 屋根自動処理 : 寄棟 ?

③ 屋根 1 選択材質

④ 屋根材質変更

⑤ 屋根材質変更

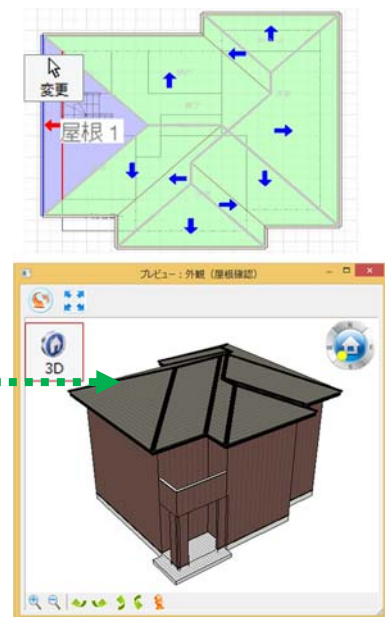
⑥ 材質選択 (画像は、約 1 m の範囲が見えています)



⑦ 鼻隠し位置指定 位置設定

桁落処理 表示階処理 全階処理

【ワンポイント】
屋根自動入力後に屋根タイプを確認する場合は、「変更」ボタンを押して屋根を選択します。イメージ確認は、3D プレビューで確認します。



屋根 手動入力の屋根タイプ（屋根 1～5）の選択変更

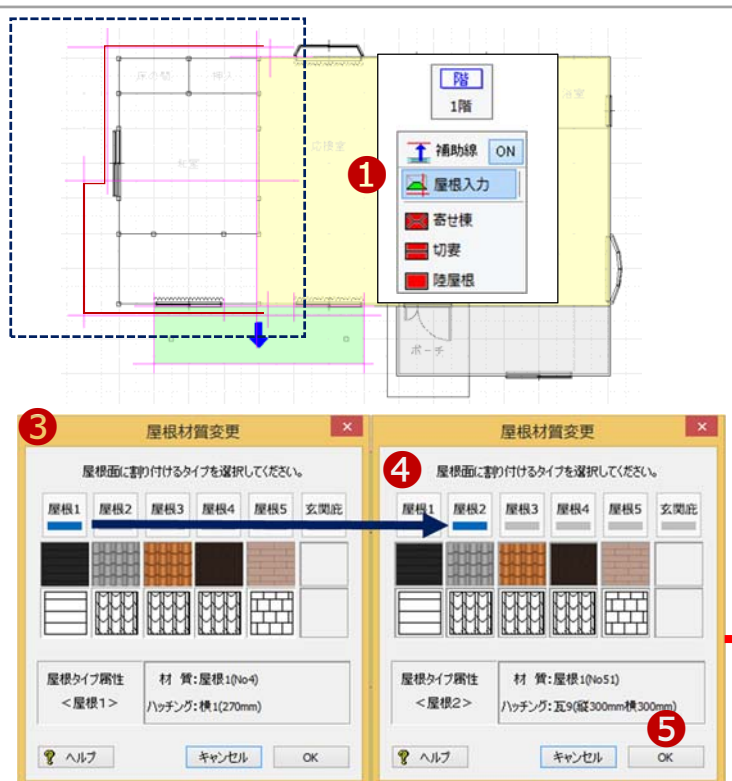
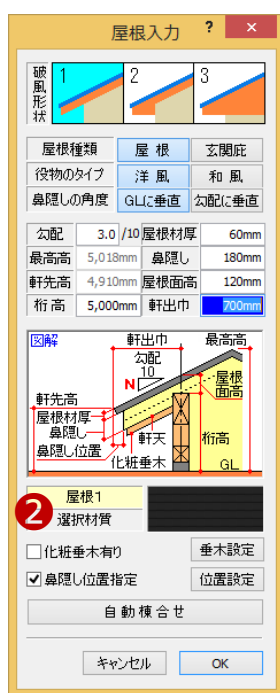
【操作解説 2】：屋根タイプ（材質の異なる）屋根面の入力方法

手動で屋根面を入力する場合は、（屋根 1～5）の個別の屋根面を入力する事が可能です。
上階の大屋根と下屋の屋根面の屋根タイプを分ける事で材質の変更をスムーズに行えます。

- ① 1 階の点線のエリアに補助線を活用して手動で屋根の範囲を入力します。
- 屋根入力ダイアログ内の②「屋根 1 選択材質」を押します。③「屋根材質変更ダイアログ」を開きます。
- ④ 屋根タイプ「屋根 1」から「屋根 2」に変更して屋根面のグループ分けを行います。
- ⑤「OK」を押すと⑥「屋根 2」のタイプが入力されて材質も反映されます。

【ワンポイント】

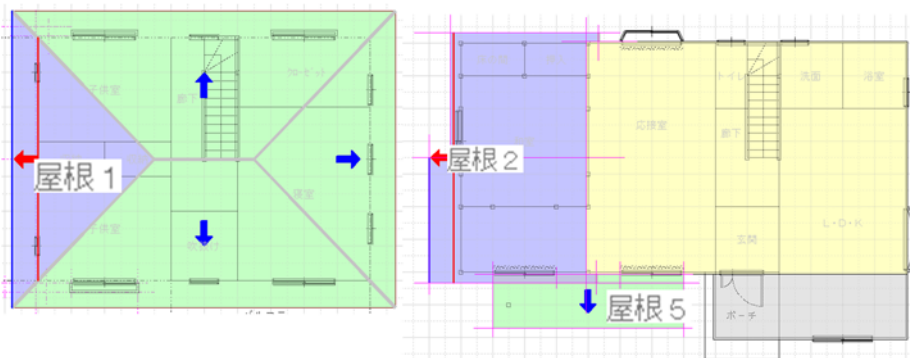
※ 3Dプレビューを起動しながら入力する事で材質や建具の取り合いも確認できます。



屋根タイプ別入力

屋根入力の際に屋根タイプを分けて入力する事でパース用の材質や立面図でのハッチングを事前に設定する事が可能です。

次のページでは、「変更」機能を活用した屋根タイプの操作を解説します。



入力済の屋根タイプの変更 屋根タイプが複数割り付けられている場合の材質変更

【操作解説3】：指定面の屋根をタイプの変更（材質・ハッチングの変更）

- ① 右サイドメニューから「変更」アイコンを押し 1 階「屋根 2」を選択します。
- 屋根入力ダイアログ内の②「屋根 2 選択材質」を押します。③「屋根材質変更ダイアログ」を開きます。
- ④ 屋根タイプ「屋根 2」から「屋根 3」に変更して⑤「OK」を押すと
- ⑥「割付面選択ダイアログ」が開きます。
 - 「選択中の屋根のみに割付」をチェックして⑦「OK」を押します。
- ⑧ 屋根タイプが「屋根 3」になり、「材質」が変更されます。

屋根入力 ?

破風形状	1	2	3
屋根種類	屋根	玄関庇	
役物のタイプ	洋風	和風	
鼻隠しの角度	GLに垂直	勾配に垂直	
勾配	3.0 / 10	屋根材厚	60mm
最高高	4,865mm	鼻隠し	180mm
軒先高	3,410mm	屋根面高	120mm
桁高	3,500mm	軒出巾	700mm

図解

屋根2

選択材質 ②

☐ 化粧垂木有り 垂木設定

☒ 鼻隠し位置指定 位置設定

自動模合せ

キャンセル OK

1階

① 変更

③ 屋根材質変更

屋根面に割り付けるタイプを選択してください。

屋根1	屋根2	屋根3	屋根4	屋根5	玄関庇
-----	-----	-----	-----	-----	-----

④

屋根2

⑤

屋根3

屋根タイプ属性

材質: 屋根1 (No.51)

ハッチング: 五九(縦300mm横300mm)

ヘルプ キャンセル OK

割付面選択ダイアログ

⑥ 割付面選択

☒ 選択中の屋根面のみに割付

☐ 同一階の屋根面に割付

☐ 全ての屋根面に割付

☐ 割付済の屋根タイプを入れ替える。

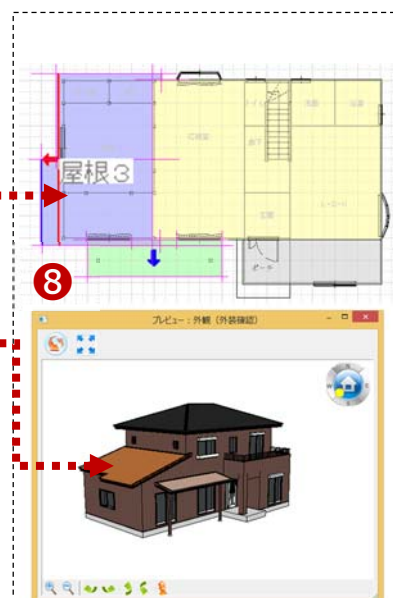
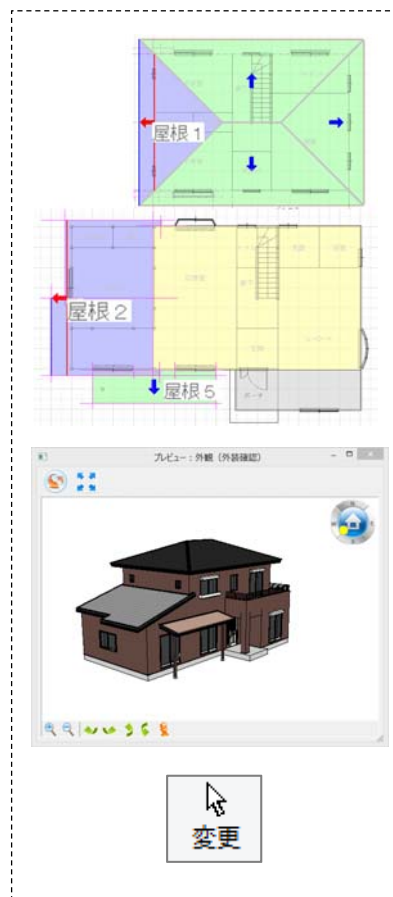
☒ プレビュー自動

戻る キャンセル ⑦ OK

※「プレビュー自動」にチェックを入れておく

・3D プレビューが自動起動します。

・3D プレビューが起動している場合は、3D データが自動更新されます。



入力済の屋根タイプの変更 屋根タイプが複数割り付けられている場合の材質変更

【操作解説 4】：同一階の屋根面に割付 複数の屋根面を一括で変更する。

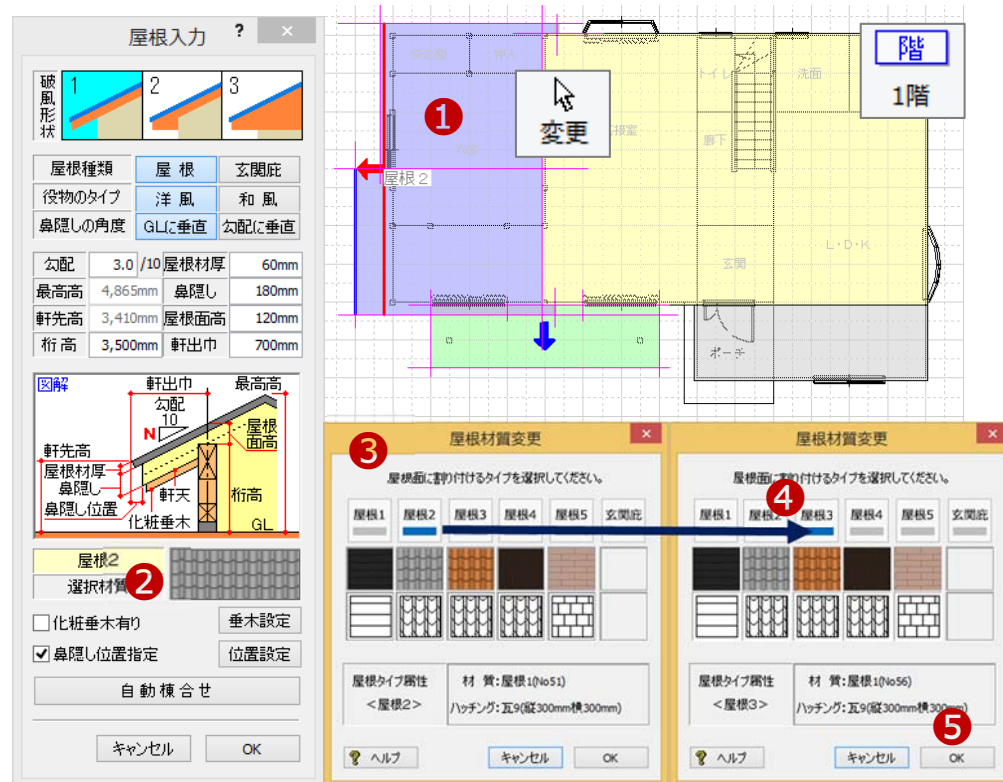
① 右サイドメニューから「変更」アイコンを押し 1 階「屋根 2」を選択します。

①～⑤までの操作は、前ページと同じです。

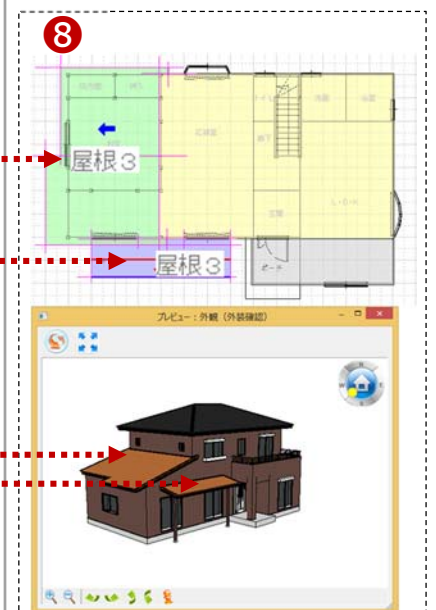
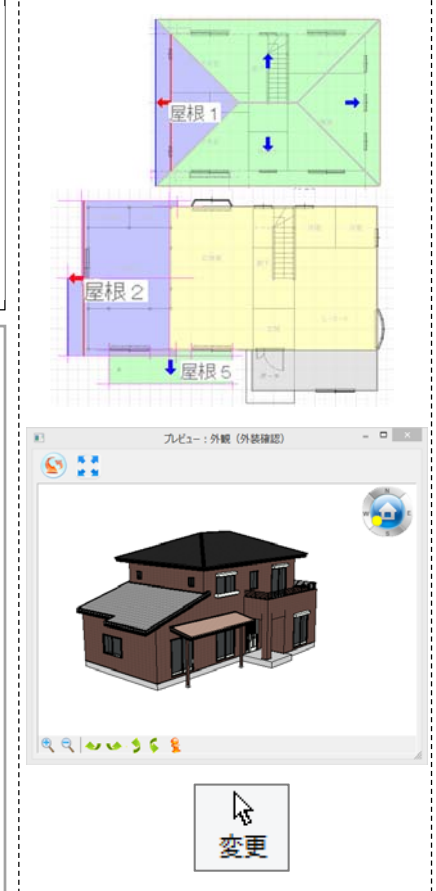
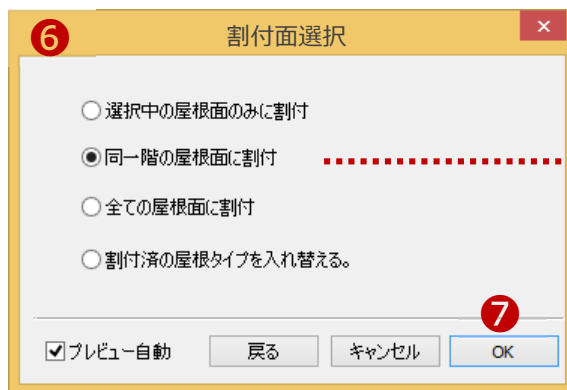
⑥ 「割付面選択ダイアログ」が開きます。

● 「同一階の屋根面に割付」をチェックして ⑦ 「OK」を押します。

⑧ 同一階にある屋根面が「屋根 3」になり、「材質」が変更されます。



割付面選択ダイアログ



入力済の屋根タイプの変更 屋根タイプが複数割り付けられている場合の材質変更

【操作解説 5】: 全ての屋根面に割付 複数の屋根面を一括で変更する。

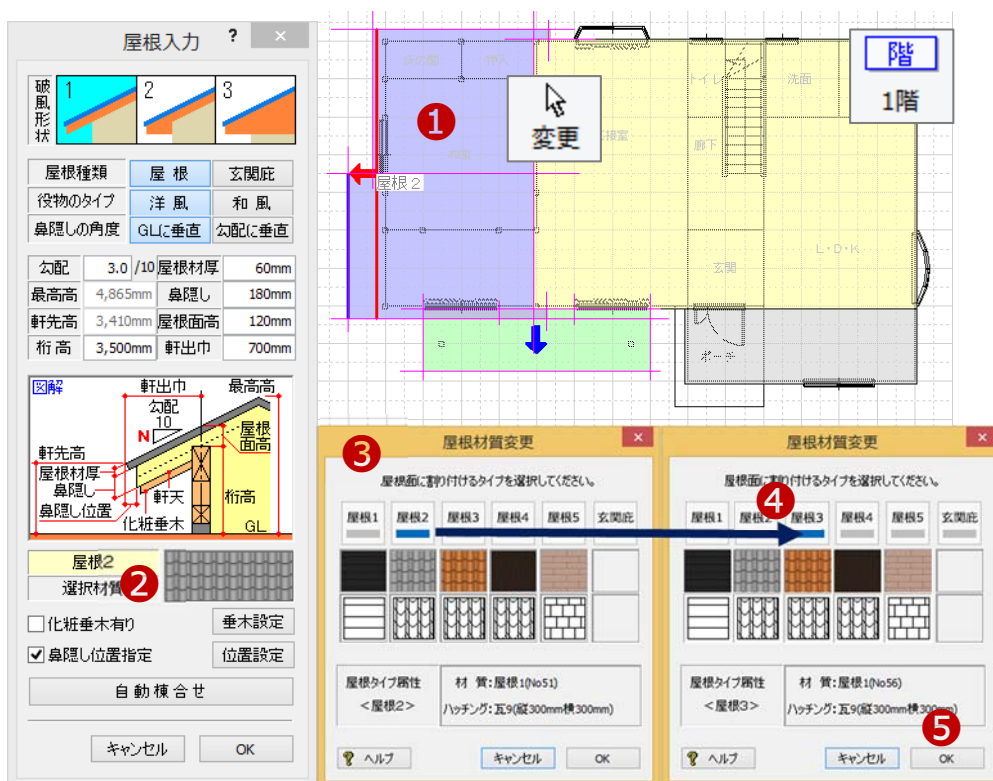
① 右サイドメニューから「変更」アイコンを押し 1 階「屋根 2」を選択します。

①～⑤までの操作は、前ページと同じです。

⑥「割付面選択ダイアログ」が開きます。

●「全ての屋根面に割付」をチェックして⑦「OK」を押します。

⑧ 屋根面全てが「屋根 3」になり、「材質」が変更されます。



屋根入力 ?

破風形状 1 2 3

屋根種類 屋根 玄関庇

役物のタイプ 洋風 和風

鼻隠しの角度 GLに垂直 勾配に垂直

勾配 3.0 / 10 屋根材厚 60mm

最高高 4,865mm 鼻隠し 180mm

軒先高 3,410mm 屋根面高 120mm

桁高 3,500mm 軒出巾 700mm

図解

軒出巾 最高高

勾配 10

軒先高

屋根材厚

鼻隠し

鼻隠し位置

化粧垂木

GL

屋根2

選択材質 2

☐ 化粧垂木有り

☒ 鼻隠し位置指定

垂木設定

位置設定

自動模合せ

キャンセル OK

屋根材質変更

屋根面に割り付けるタイプを選択してください。

屋根1 屋根2 屋根3 屋根4 屋根5 玄関庇

屋根タイプ属性 <屋根2>

材質: 屋根1(No51)

ハッチング: 瓦9(縦300mm横300mm)

ヘルプ キャンセル OK

屋根材質変更

屋根面に割り付けるタイプを選択してください。

屋根1 屋根2 屋根3 屋根4 屋根5 玄関庇

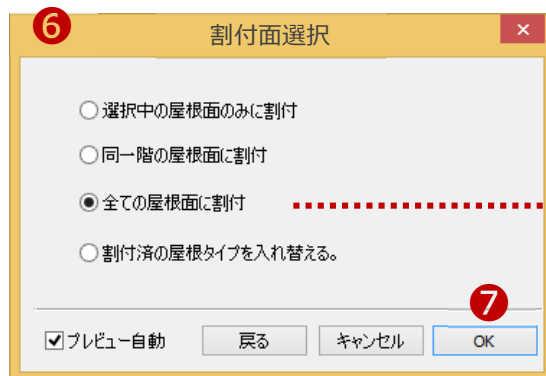
屋根タイプ属性 <屋根3>

材質: 屋根1(No56)

ハッチング: 瓦9(縦300mm横300mm)

ヘルプ キャンセル OK

割付面選択ダイアログ



割付面選択

☐ 選択中の屋根面のみに割付

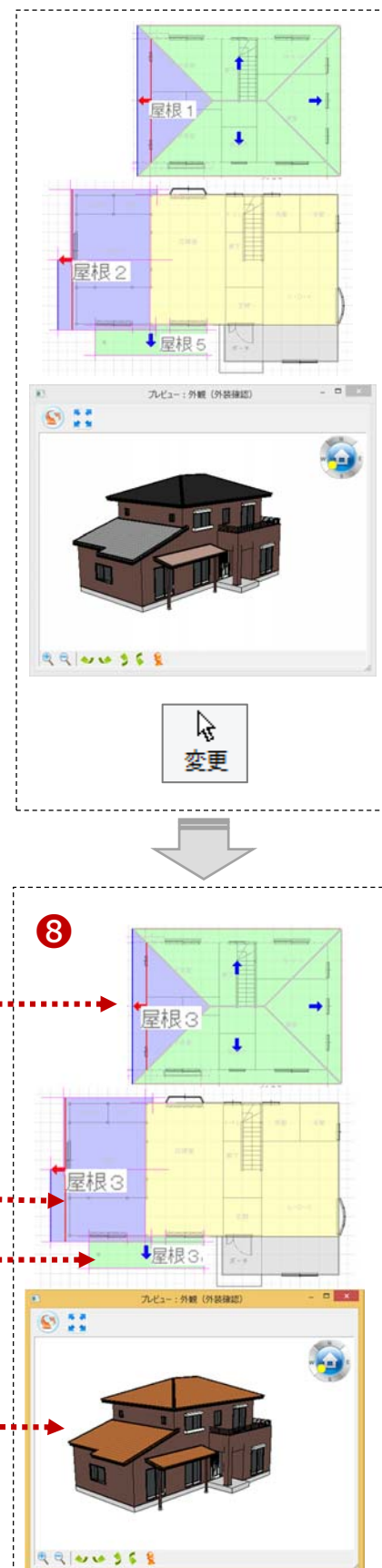
☐ 同一階の屋根面に割付

☒ 全ての屋根面に割付

☐ 割付済の屋根タイプを入れ替える。

☒ プレビュー自動

戻る キャンセル OK



入力済の屋根タイプの変更 屋根タイプが複数割り付けられている場合の材質変更

【操作解説 6】：割り付け済の屋根タイプを入れ替える。

1 階の「屋根 1」と 2 階の「屋根 1」を一括で「屋根 2」の材質に変更する。

- ① 右サイドメニューから「変更」アイコンを押し 1 階「屋根 1」を選択します。
 ①～⑤までの操作は、前ページと同じです。
 ⑥ 「割付面選択ダイアログ」が開きます。
 ● 「割付済の屋根タイプを入れ替える」をチェックして ⑦ 「OK」を押します。

屋根入力 ?

破風形状	1	2	3
屋根種類	屋根	玄関庇	
役物のタイプ	洋風	和風	
鼻隠しの角度	GLに垂直	勾配に垂直	
勾配	3.0 / 10	屋根材厚	60mm
最高高	5,018mm	鼻隠し	180mm
軒先高	4,910mm	屋根面高	120mm
桁高	5,000mm	軒出巾	200mm

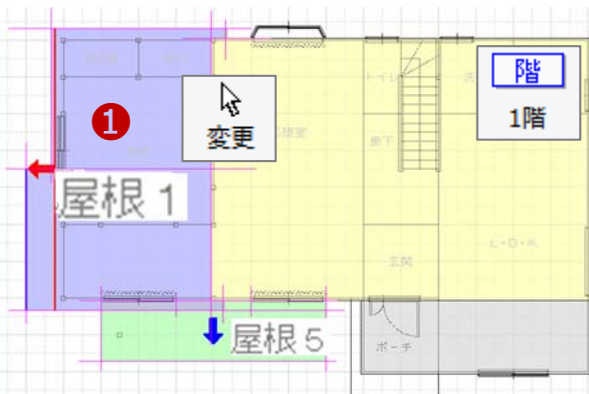
図解

屋根1
選択材質 ②

☐ 化粧垂木有り 垂木設定
☒ 鼻隠し位置指定 位置設定

自動模合せ

キャンセル OK



屋根材質変更

③ 屋根面に割り付けるタイプを選択してください。

屋根1	屋根2	屋根3	屋根4	屋根5	玄関庇
-----	-----	-----	-----	-----	-----

屋根タイプ属性
<屋根1>
材質: 屋根1(No.4)
ハッチング: 横1(270mm)

ヘルプ キャンセル OK

④ 屋根面に割り付けるタイプを選択してください。

屋根1	屋根2	屋根3	屋根4	屋根5	玄関庇
-----	-----	-----	-----	-----	-----

屋根タイプ属性
<屋根1>
材質: 屋根1(No.2)
ハッチング: 横1(270mm)

ヘルプ キャンセル OK

⑤

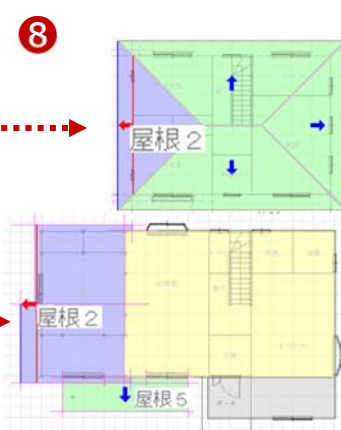
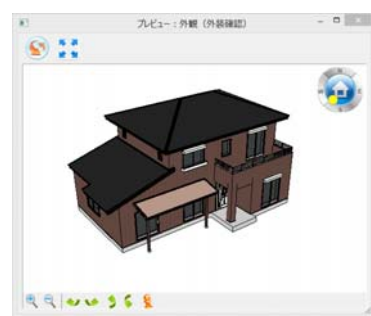
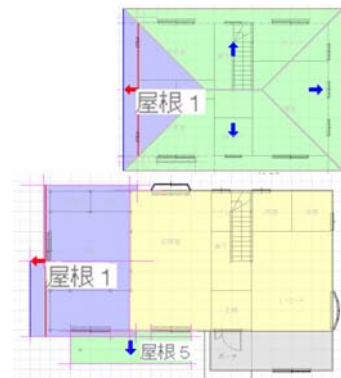
割付面選択ダイアログ

⑥ 割付面選択

☐ 選択中の屋根面にのみ割付
☐ 同一階の屋根面に割付
☐ 全ての屋根面に割付
☒ 割付済の屋根タイプを入れ替える。

⑦

☒ プレビュー自動 戻る キャンセル OK



玄関庇の屋根タイプについて

【操作解説 7】：玄関庇の（材質・ハッチング）割り付け設定。

※玄関庇は、手動入力後に「屋根入力ダイアログ」の「**③玄関庇**」を選択して入力を行います。

①左サイドメニューから「補助線」を活用して玄関庇の**②**範囲を入力します。①「屋根入力」アイコンを押し玄関庇を入力します。屋根入力ダイアログ「玄関庇**③**」を押します。④「玄関庇 選択材質」を押して⑤屋根材質変更から玄関庇の材質を確認します。⑥「OK」を押し「屋根入力ダイアログ**⑦OK**」を押して「玄関庇」の入力を確定します。

⑧3D プレビューで玄関庇の入カイメージが確認できます。

屋根入力 ? x

破風形状 1 2 3

屋根種類 屋根 玄関庇 **③**

役物のタイプ 洋風 和風

鼻隠しの角度 GLに垂直 勾配に垂直

勾配 2.0 /10 屋根材厚 60mm

最高高 3,180mm 鼻隠し 150mm

軒先高 3,010mm 屋根面高 150mm

桁高 3,000mm 軒出巾 700mm

図解

玄関庇 **④**

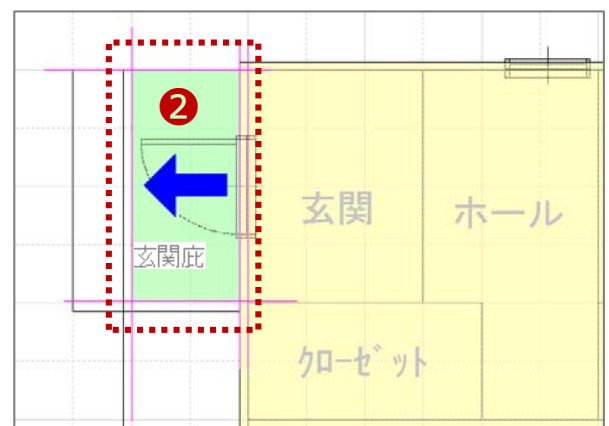
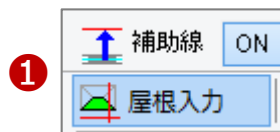
選択材質

☐ 化粧垂木有り 垂木設定

☒ 鼻隠し位置指定 位置設定

自動棟合せ

キャンセル OK **⑦**



屋根材質変更

屋根面に割り付けるタイプを選択してください。 **⑤**

屋根1 屋根2 屋根3 屋根4 屋根5 玄関庇

屋根タイプ属性 材 質: 屋根1(No4)

< 玄関庇 > ハッチング: レンガ8(縦100mm横250mm)

ヘルプ キャンセル OK **⑥**

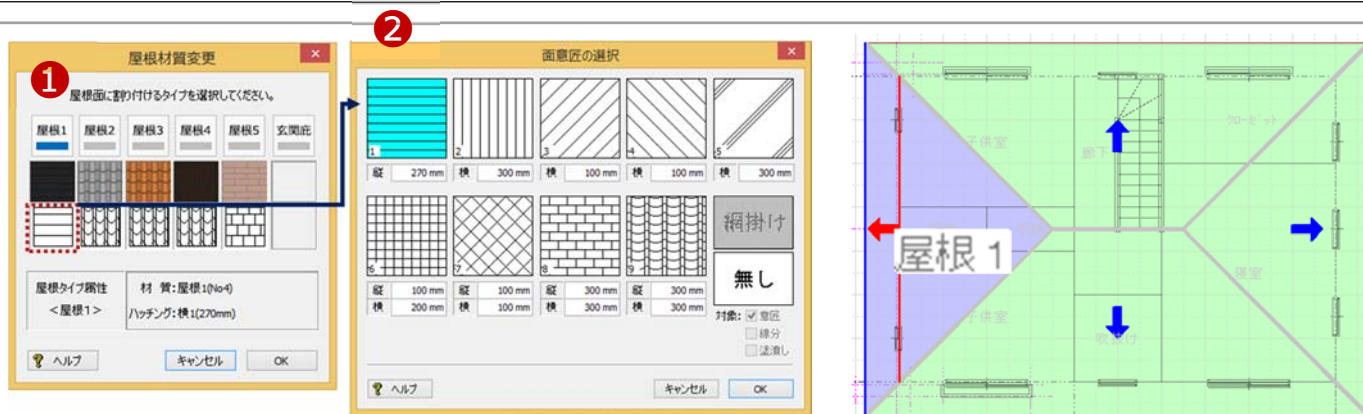


屋根タイプ（外壁 1 ～ 5）のハッチング（立面図への連動）

【操作解説 8】：屋根タイプのハッチング設定を行っておく事で、立面図の自動作成へハッチングが連動します。

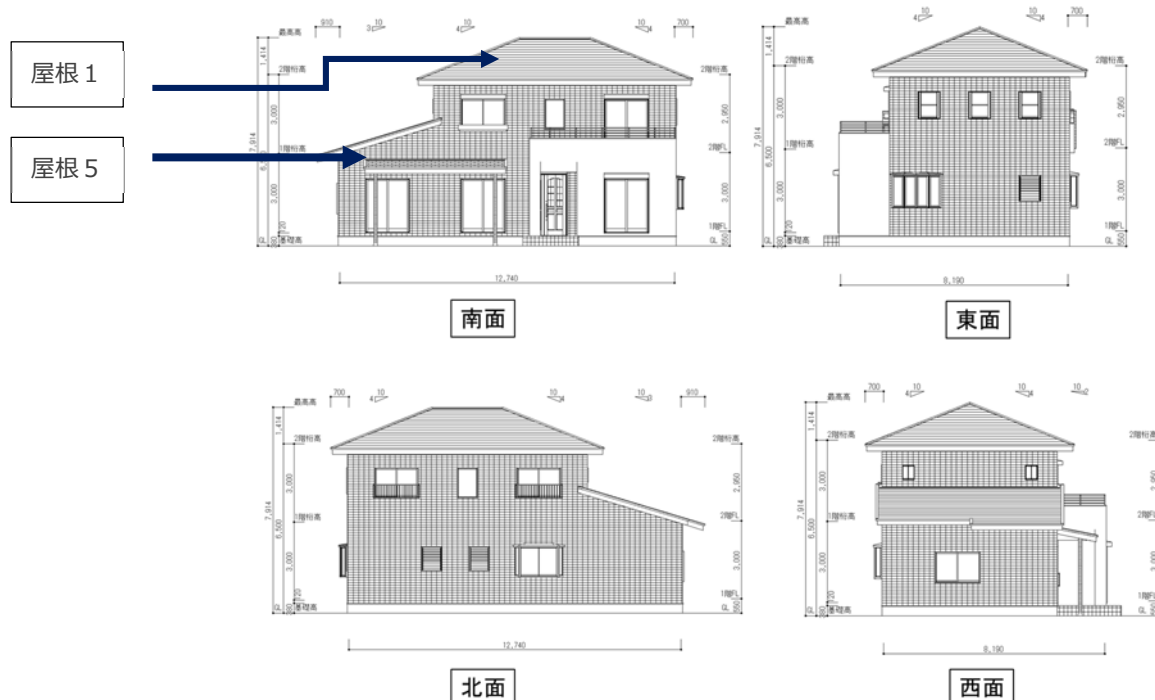
①のハッチング画像を押すと②「ハッチング選択画面」に入ります。
「ハッチング種類」と縦横寸法を「屋根 1 ～ 5」「屋根底」に登録して割り付ける事で立面図に連動します。

「屋根 1 ～ 5」「屋根底」の割り付け方法は、前ページまでの操作方法と同じです。
屋根タイプの割り付けを行う事で「パース用の材質」と「立面図用のハッチング」の同時入力が可能になります。



立面図 自動出力

【注：屋根入力と間取りプランを入力確定してから「外装モードの外壁割付」を行ってください。
外壁割付後に「屋根の入力/編集」を行う事により、外壁と屋根の接合部の自動整合を行い外壁の再割り付けを行うケースがあります。



注釈：この基本操作マニュアルの記載内容につきましては、更新プログラム公開時期により、プログラム動作との差異が発生する場合がありますのでご了承下さい。